

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871400259
法人名	(有) 和家
事業所名	グループホーム 蘭
所在地	愛媛県西予市宇和町河内 1 6 6 - 1
自己評価作成日	平成22年7月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

9人の利用者が地域の方に住民として受け入れて頂き、地域の祝い事にも参加の呼びかけをしてもらっています。特に保育所や小学校、公民館、又、農協やスーパーなどの買物などは健康と社会の一員としても協働できる喜びです。通学児童の元気な挨拶にも励まされ、地域に顔なじみになることができ散歩にも気兼ねなく大声で歌ったり、笑ったりできます。今年は地域のギャラリーで作品展も開催でき近隣の町から見学者もあり作品作りにも励みとなりました。今年からは学童保育も始まり、より人間関係が強くなったように思えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

入居前から利用されている理髪店に、ご家族が付き添われたり、職員がお連れしている。家族会の折には、利用者のご家族と過ごす時間を作っておられ、中には、ご家族と釣りを楽しんだり、ご家族と商店街に買い物に行かれたり、ご自宅に戻っていただける方もあるようだ。
閉鎖していた近所のスーパーが再開し、食材等の買い物によく出かけておられる。出かけた際に店のベンチでひと休みし、地域の方と声をかけ合うことも多い。
毎週金曜日に「あのね」という職員が意見を出し合うような会があり、参加されない職員にも内容が伝わるように申し送られている。又、毎月の職員会には、職員が全員参加されており、研修に参加した職員が報告や感想等を発表したり、利用者への言葉かけ等についても「周りから聞くと、どう感じるか」等、職員同士で意見交換をされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 蘭

(ユニット名) 1

記入者(管理者)
氏名 清水 勝美

評価完了日 平成22年 7月25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に基づいて実践してはいるが、出来てない部分もある。	
			(外部評価) 運営者は「地域に恩返ししたい」との思いを込めて事業所の理念を作成しておられ、事業所は「利用者、家族、職員、地域の方々に安心してもらえる施設」を目指しておられる。さらに、理念をもとに、職員で話し合い理念をより具体的に示した「私たちの理念」を作成されており、玄関に掲げ、職員の出勤時に確認したり、ご家族・地域の方が来られた時に見てもらえるようにされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 散歩など地域の方に顔を覚えて貰い、学校、保育所との交流会、地域行事に参加している。	
			(外部評価) 地域の方が、お菓子や料理作り、畑の草ひき等に来てくれている。日常的に、散歩や商店に買い物に出かけたり、又、8月の地域の伝統行事「卵の蛸」には、ボランティアの方が灯ろうの土台を作ってくれて、利用者や職員で協力して作り上げて、明かりを灯し、町並みのライトアップに参加された。4月から事業所内で「学童保育」を行っておられ、小学生が事業所で、利用者とゲームをしたり、一緒におやつを食べたりしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ボランティアの受け入れ、小学校、保育所、運営推進会議などに参加したり、文化祭などには作品を出品している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議の報告や情報は会議記録を掲示し職員会にも伝える。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議は「地域の方に事業所を知ってもらったり、地域の情報をいただき、お互いに協力出来るような場にしたい」と取り組みをすすめておられる。民生委員の方からは、研修等で勉強したことを教えていただいた。運営推進会議は、現在、木曜日に曜日を決めて実施し、会議の内容も年間で決めすすめておられる。2年ごとに2件のご家族が交代して出席していただくようになっている。「学童保育の開設」についても説明されている。来月は、地元の消防団の方に来ていただき、事業所の中も見てください等、避難についてアドバイスをいただきたいと考えておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議にも参加頂き情報の交換をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>市から認知症サポーター養成講座への協力依頼があった。介護計画の作成や様式等について相談したことがきっかけで、市主催の市内GH連絡会で勉強会を行ってくださるようになったようだ。又、介護相談員の方が利用者で作った俳句を集めた句集を作ってくださいました。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修などを通じて勉強し身体拘束のないケアに取り組んでいる、徘徊しそうな様子を察知したら止めるのではなく、声かけして一緒についてゆく。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の中にふらつく方がおられ、ベットの足元に鈴を付けている方もあった。職員は、利用者の行動を見守り、外に出て行かれる方には、職員と一緒に出る等されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などに参加し職員会などで話し合いに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護については研修会があれば学習する、制度の活用については難しい、	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族には文章にて説明している、又、家族との面会の機会などではその都度、不安な事などお話するようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議にも参加して意見をのべて頂いたり、家族会や面会時などに気軽に要望をお聞きするようにしている。	
			(外部評価) 行事の写真を多く載せたホーム通信「蘭」とともに、ご本人の預かり金の明細等も同封して、毎月、ご家族に送付されている。又、運営推進会議の議事録も送付して事業所の取り組みを知ってもらっている。「家族会」を年2回行っておられ、内1回は、クリスマス会と合わせて行っておられる。もう1回は、ご家族が参加しやすいように、ご家族の家に近い場所で行うようにされており、ご家族が利用者ご本人と一緒に過ごす機会を作っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員会や毎週の提案会で意見を交換する。	
			(外部評価)	
			毎週金曜日に「あのね」という職員が意見を出し合うような会があり、参加されない職員にも内容が伝わるように申し送られている。又、毎月の職員会には、職員が全員参加されており、研修に参加した職員が報告や感想等を発表したり、利用者への言葉かけ等についても「周りから聞くと、どう感じるか」等、職員同士で意見交換をされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			充分にはできていない、今の介護報酬ではむ難しい。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			交代で研修会などに参加し資格の取得を勤めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会の研修には参加して、自発的に外部に目を向けている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人、家族との不安対処に職員全員で取り組んだり、面会時には家族とお話する。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス計画、プラン作成、家族への説明と面会時には声かけして家族、本人の不安解消に努める。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所前の情報は出来る限り収集し、それに合った対応策を職員に説明し本人や家族が安心できる支援作りをしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者を人生の先輩と思い、常に教わる立場でケアしている。利用者との関係が長期になり良い関係が築かれているが悪い部分も出る。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時などで利用者を交えてお話する場をつくり、本人を支えてゆく思いは介護者も家族も同じであるが、家族の方の遠慮が見られる。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員が同じくではないが、家族と触れ合う機会への送迎、散髪の外出を支援、墓参りや外出の援助を行う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居前から利用されている理髪店に、ご家族が付き添われたり、職員がお連れしている。家族会の折には、利用者をご家族と過ごす時間を作っておられ、中には、ご家族と釣りを楽しんだり、ご家族と商店街に買い物に行かれたり、ご自宅に戻ってみられる方もあるようだ。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 皆で楽しく過ごす時間、気の合う者同士で過ごす場所作り、テーブルの配置を変更したり、職員が話題作りのキッカケを作る。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 本人の生活場を訪問したり家族と連絡を取りあう、新しい入所先に面会に行く。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人本意の介護であって、介護者側の介護にならないよう、何時も入居者と近い距離で観察やコミュニケーションをとり毎月のケア会議で情報の共有をする。 (外部評価) 利用者の言葉を日々の記録に書き留めるようにされており、発する言葉から、利用者の思いを把握できるよう努めておられる。又、半年に1度の介護計画の見直し時には、蓄積した情報を担当職員でセンター方式の様式にまとめるようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 居室を思い出の品や趣味の物を置き、入所前から生活を観察し、職員間で情報を共有、利用者の理解に努める。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日のバイタルチェック、表情の観察、定期的なカンファレンスなどで情報の確認などを行う。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は各利用者を担当しながら職員会で意見交換し目標や介護の改善に努める。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の担当職員を中心に、ご家族が来られた際にはご本人の状態等をお話してご意見を聞き、ご本人の思いを大切に介護計画を作成しておられる。介護計画書は、他事業所からの情報を参考にして、ご家族や職員に分かりやすいような書式に替えられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全職員で情報を共有し、介護記録や申し送りなどでも利用者の要点を確認しあっている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の希望により買物、外出の援助を行う、通院などの必要な支援も柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>散歩や近所の店へ買物、学校、保育所などの交流、文化祭などへ作品の出品、季節の野菜栽培や収穫の支援をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>掛かりつけ医へ行ったり、本人や家族の希望する病院 へ受診する、看護師が定期通院や体調不良時の受診等 に従事し医者との情報交換をしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>かかりつけ医への受診は、事業所の看護師資格を有す る職員が同行するようになっている。ご家族が受診に 付き添う場合は、ご家族にご本人の状態を伝え、又、 受診後は、ご家族から受診の結果を聞くようにされて いる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>看護師が常勤であり、介護職員とも詳細に報告、連 絡、相談を相互に行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>看護師が常勤であり、介護職員とも詳細に報告、連 絡、相談を相互に行っている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>何時でも連絡が出来る様に【連絡網】を作成し、夜間 の対応も主治医の協力がある。</p>	
			(外部評価)	
			<p>何時でも連絡が出来る様に【連絡網】を作成し、夜間 の対応も主治医の協力がある。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>ターミナルケアマニュアルを作成し家族に説明、家族会 などでもターミナルについて話し合っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>家族会時に看取りについての説明を行い、質問等につ いては個別でも説明された。現在、ほとんどのご家族 から「ホームで最期までお願いしたい」との希望があ るようだ。事業所では「医療が必要になったような時 には、事業所での支援がむずかしい」ことを説明され た。この一年の中で、遠方におられるご家族と連絡を 取りながら、事業所で初めて看とりを支援された。</p>	<p>事業所では、初めての看取り支援を経験され、職員の 介護技術の向上やチームワーク作り、ご家族との協力 体制の必要性を感じられたようである。今後ご家族 と協力し合って、ご本人やご家族の意向に沿った支援 に取り組めるよう、事業所の体制を具体的に作ってい かれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	救急救命訓練を行ったり、緊急時の対応について情報の共有などを行っている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	ほとんど毎月、避難訓練を行って、運営推進会議などでも提案している。
			(外部評価)	
			毎月29日には、いろいろな災害を想定して利用者とともに避難訓練を行っておられる。通報訓練や実際に利用者と安全な場所まで避難する訓練も行われた。次回の運営推進会議では、地域の消防団の方に参加していただき、救助の方法等アドバイスをいただきたいと考えておられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	初心を忘れず、個人の尊重に努る、入所が長期化し家族的になり過ぎ、声かけなどに反省点がある。
			(外部評価)	
			4月からホーム内で「学童保育」を始められ、事業所内に、保護者等、新たな人が入ることで、管理者は「外部の目を意識するようになった」と話されていた。調査訪問時、食べこぼしを気にされる利用者の方に、職員がそっと拾っておられるような場面が見られた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	表情、体調などを観察しながら言葉で話しかける、利用者に合った声かけをするが押し付けるような場面も見られる。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 自己表現が難しい利用者もあり、全員の希望を受け入れることは難しい、残存能力を生かせるよう努めている、希望が言える利用者には支援できるが、充分でないかも知れない。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 起床時の着衣は気温などで体調が悪くならない様に声かけする(厚着など)、日常生活においても臨機応変に整容などの支援、訪問美容や化粧などのアドバイスもする。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理の準備、盛り付け、片付けなど出来る事は一緒にしたり、利用者の体調に合った食事量に配慮し、配膳、片付けなど負担にならない作業をしてもらう。	
			(外部評価) 事業所の畑で利用者が収穫したキュウリ等の野菜や、地域の方にいただいた季節の野菜等も採り入れて、週単位で献立を立てるようになってきている。又、食材よっての利用者の食べやすさや飲み込みやすさを確認しながら形状等にも気を配っておられる。又、ボランティアの方が来られて、利用者に食べたい献立やおやつを聞き、利用者と一緒に作るような機会もある。利用者は、食材の下ごしらえをされたり、下膳されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日確認しているが、水分量の少ない時もある、献立表、水分チェック表の活用効果が確認出来ない事もある。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 利用者の生活習慣や力量に応じてケアしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			記録しているが加齢による機能の低下で紙パンツになって行く、その時の心身状態によりベストな介護を見極めながらケアしてゆく。	
			(外部評価)	
			利用者が排泄に失敗した時の対応については、ご本人の羞恥心に配慮した声かけや対応に気を付けておられる。下着が汚れやすいような方もあるが、ご自分で着替えができるよう居室に洗濯かごを置いておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分、摂食量などにより医者とも相談しながら薬の服用もある、献立が便秘緩和になる食材をメニューに取り入れる。	
			(外部評価)	
			職員のペースになり勝ちであるが、入浴時間が希望にそうようにしている、本人の希望や状況判断により清潔感とリラックス感を効果的になる様支援している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴を嫌がられる方には、タイミングをみながら声をかけてるようにされている。事業所はトイレから脱衣所へとつながっており、トイレを使用して入浴支援につながるようなこともあるようだ。	
			(外部評価)	
			入浴を嫌がられる方には、タイミングをみながら声をかけてるようにされている。事業所はトイレから脱衣所へとつながっており、トイレを使用して入浴支援につながるようなこともあるようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			昼間の活動、食事、生活リズムに合わせ入眠誘導の流れを大切にする、環境面でも支援に努める。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬箱に服薬の目的、効能書きが貼ってあり服薬確認を正しく出来る様につとめる、薬の効果、リスクにおいても個人の情報を知っておく。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個人にあった、自分に出来ることを見つけては、生活に張り合いが出来るよう支援につとめている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候、体調などに合わせ散歩しながら健康維持に努め、地域情報などでドライブ、地方祭、祭日イベントに出かけ地域交流をしている。	
			(外部評価) 閉鎖していた近所のスーパーが再開し、食材等の買い物によく出かけておられる。出かけた際に店のベンチでひと休みし、地域の方と声をかけ合うことも多い。又、地域のお祭りや文化祭にも出かけておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の能力に応じ、自己管理できる人は支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の能力により、手紙を出したり、電話の出来る人は家族の了解の上で電話連絡を援助する。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自分の作品を飾ったり、廊下に絵や俳句が貼ってある、季節の花を飾ったり地域行事に参加する。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には、利用者の手芸の作品や、かまぼこ板の絵、俳句等を飾っておられ、眺めては、思い出話をされる方もあるようだ。今月の予定が大きな黒板に示されていたり、俳句ポストが設置されており、職員もサポートして利用者が思いついた時に俳句を作り、投かんされる方もある。パッチワークで作った「おふる」ののれんを掛けておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>花を飾ったり、室温にも気を使う、テーブルや椅子の配置換えも入居者の心身の変化でおこなう</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家族写真、誕生会の思い出の絵や、馴染みの物を居室に置いている、本人のもっとも居心地の良い環境を作り、安全の確保にも気をくばる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>新聞で番組をチェックして自室のテレビで見たい番組を見る方がいる。ご家族に手紙を書く方もおられ、ご家族からのお返事をタンスの上に置いて時々見ておられるようだ。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレ表示の大文字、名札、テーブルなどで自分の居場所を確認できるよう、畳やベッも個人にあった環境にしてゆく。</p>	